

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会 第12回 策定協議会議事録〈要旨〉

日時：平成21年3月19日（金）13:30～15:00

開催場所：知立市役所 現業棟2階 第10会議室

出席者：委員8名（欠席者4名）、事務局7名

〈議事次第〉

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 第11回策定協議会議事録の確認
 - 2) 知立市UDガイドラインについて
4. 協議事項
 - 1) 知立市UD推進計画(案)について
 - 2) 知立市UD重点整備地区整備計画(案)について
 - 3) その他
5. その他
6. 閉会

〈挨拶〉

事務局：知立市にとっては駅の連続立体交差事業を初めとした駅前を中心に是非この計画を実行できる様な形で進みたいということでもまとめて頂いたわけだが、若干駅前のまちづくり自体はまだ実現化していないこの計画を活かしながら将来の知立の玄関口やさしまちづくりを進めて行きたいと思う。

〈報告事項概要〉

◆ 1) 第11回策定協議会議事録の確認

事務局：資料1が前回協議会の議事録。

◆ 2) 知立市UDガイドラインについて

事務局：ユニバーサルデザイン導入プロセスは検証事業をしていく中で少し整理した。検証事業の概要で検証事業として2月19日に知立市役所と中央公民館の調査をした。結果として、発注者に施工に対してチェックする機会がなく、施工後に不備があることが改めて分かった。先程のプロセスでは整備内容のチェックが必要ということが盛り込んである。

兼子委員：工事の場合、材料承認を得てからでないといと工事はできないが、設置されてから違っているのは有り得ないことだ。

事務局：現場合わせといったことが多分にあり、どのような体制でチェックするかといったところを誰かが気をつけておかなければならないということだと思ふ。

兼子委員：ユニバーサルの可能な所で計画立てた物ができたら全く違う物だったというのは不思議だ。

野崎会長：きちんとした現場指示とかができない場合にミスマッチが起こることが多い。機器自体は良いが取り付け方法とかよくある問題である。

〈協議事項概要〉

◆ 1) 知立市UD推進計画(案)について

保田委員：駅周辺は工事に掛かろうとしているときに21から25年度に協議しますとあるがこれでは遅いのではないか

事務局：駅周辺の整備事業の主体の連続立体交差事業は絵にも大体形が作られている。UDに掛かるエレベーター等の整備についてはまだまだ実際にやる形での絵ではない。整備をした中で図面を作っていくということなので、実際には連立事業が事業認可期間でいくと26年度になる。以前のタイムスケジュールとは異なってきていることだけご承知願いたい。

保田委員：駅前ではバス、タクシー、一般車両の乗り入れとかがあるが、工事としては26年度以降の話なのか。

事務局：26年度以降ではないが、仮線が引かれて連立は本体工事を始める。区画整理はすでにスタートしている。駅前広場の7200㎡を築造するには今ある建物を全部取り払わないとエリアが取れないので西のほうの宝町側から移転を片づけて駅の中心地へ持ってくる。年次として26年度か25年度かといわれても年度は言い難い。時間的には4、5年は十分にある

保田委員：検討を25年までやって結果によって実施の方向を定めるということはここから設計に入る感じになる。この案だとUDが非常に遅れている気がする。前もって要望を出さないと設計はどんどん進んでいく。

事務局：チェックリストを作成して整備にあたっての指針を作成した。これに則って進めて下さいということである。協議があれば都市計画として関わっていきたい。設計ができたから都市計画がチェックするシステムではない。実質的には担当課のほうが主体になってやっていくことになる。

兼子委員：問題はできてしまってからこんな筈ではないという物ができてしまった場合に折角話があるので勿体ないから、途中でこの様な物ができるとい発表はあるのか。

事務局：庁舎のほうもユニバーサルでやって貰った。だけども後からいろいろ見ていくと少しずつこうすればいいという事が出てくる。ユニバーサルの熟度を上げる中では大切な作業である。作って反省して、また次に作る時は反省を踏まえて作っていくということをこれから継続し

ていくことだと思う。UDでできた物が完璧かというところとそうでない所も中には出てきてしまうということを理解してほしい。

◆ 3) 知立市UD重点整備地区整備計画について

高木委員：駅前広場のイメージ図ですがP27(8)に乗降者が極力雨に濡れないようにと書いてあるにも関わらずバスを待つところでは雨にも濡れてしまうような図になっている。これでは書き方が不味いのはと思う。

野崎会長：言葉が絵になってないということですか。

高木委員：今現在のところを直すというかここが良くないということで書かれているのなら、こうすればUDになるという図ならいいが、この絵は今、現在の図なので、ここを修正するということがいる。

事務局：高木委員が言われる様にイメージという図面を想像してしまうので、整備イメージ図を例えば整備ポイントというような感じのほうが皆さんに誤解を与えないという思いはあるので少し検討する。

野崎会長：この絵がもう少し具体的に提案された形になると良い。

白石委員：P55 今連結バスの導入が検討されている。大量移送ができるということであるが、心配なのは既存の知立の駅で可能なのかということが当然ある。

事務局：全てをやっていければいいが全てやれない部分もあるのでその中で改修して連結バスを今の現状の中で走らせると言う部分についても、こういった中身を入れる部分を頂きながらこの現状のなかで伝えるかどうかは、今から調査し現状を見ながら最終的に新しい駅前広場ができるまでの間の対応をどうすべきかと新たな駅前広場をこれに沿った形で少しでも整備ポイントを多く入れながら整備していきたい、整備していかなければいけないということで今からお願ひさせて頂く中身として示している。

野崎会長：会長としての個人的な意向としては先程絵にも具体性がないとあったが、これは次の段階にお任せするという事で将来UDの観点から具体的な方向にいけばと思っている。提案してもらった言葉、整備のポイント、イメージが分かりやすくある程度の実事の裏付けがあるなら表現しなければいけないということがあるかもしれません。

兼子委員：策定されて中間報告とかただやっただけで中間では例えば25年の時点ではどのくらい推進活動ができたのかということがまったく分からない。中間チェックは誰がするのか。

野崎会長：P36 推進体制に書いてある。事務局から説明があった。事業担当課から事務局と図があるが、右側からそれぞれやって頂けると理解している。

事務局：現時点では次の体制がしっかりユニバーサルに関する物は引き継がれる道筋が不安定なところがあって推進計画等のなかでもう一度改めてしっかりやっていける様な考え方を今後示させていただけるようにしていかなければいけないのかと思うが、現時点では来年度は主に啓発に努めていくことと事業課にはガイドライン等で十分配慮してもらうような計画をしていかなければいけないと思う。

兼子委員：重点地区整備計画というのが25年の時点でどこに決めてこの様にしていますということが目に見えると良いと思う。

事務局：一歩でも次に繋げていかなければならないと思う。浜松市のように担当部局ができるとか。市民の皆さんの意見も受けながらそのような形になるかもしれない今後の活動がそのような形になっていくのかと思う。

高木委員：UDは良くでてくるのでいいがP26(4) パーク&ライド、キス&ライドの意味がわからない。

事務局：この言葉については注釈を入れるようになっている。SPコードも同様で分かりづらいと思うパンフレットのSPコードのところに注釈を入れる。他市に住んでいる視覚障害者の方にも読んでもらえれば良いかと思う。

事務局：概要版は小さい子にも読んでもらえる様に表紙と見開きページはふりがなを付けました。外国語の対応はやりきれていないので今後の課題だと思う。広報で見られた方もあると思うが資料2は社会福祉協議会の福祉だよりで何かある毎に積極的にユニバーサルデザインについて取り上げて貰って、分かりやすくご紹介いただいていたので資料としてでした。

事務局：この様なことの一つ一つでUDを市民の方に知って頂く機会に繋がっていくのかと思う。

＜閉会＞

事務局：本日協議事項ユニバーサルデザイン推進計画と重点整備地区整備計画の対して、ご意見を頂きました。内容に不備の点多々等あったと思います。今回で協議会は最後とさせて頂きまますのでまとめについては事務局でさせて頂きますのでご了解いただきたいと思います。今回が最終になります。今まではボランティアという格好で出席頂き誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。また今後ともユニバーサルデザインの普及についてはどこかでお力添えをお借りすると思いますのでよろしくお願いしたいと思います。知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会は第12回を持ちまして終了させていただきます。永らくありがとうございました。